



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

広島県 福山市立至誠中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
 オリンピアン自身の様々な経験を通して  
 「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
 この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
 日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピアンはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
 チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
 ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
 オリンピックの価値を生徒に伝え、  
 オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。

※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

- **オリンピック**：永田 睦子 先生 (バスケットボール)  
【出場オリンピック／アトランタ1996大会、アテネ2004大会】
- **期 日**：2024年10月17日(木)
- **ク ラ ス**：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・アトランタ1996大会とアテネ2004大会にバスケットボール競技で出場したと自己紹介。運動の時間は、人と比べずに自分の中で頑張る気持ちを持って一生懸命取り組むこと、班やクラス全員で取り組む運動の際は仲間と協力すること、ルールを守ることの3つを約束してほしい。準備運動は、体を使った後出しじゃんけんを実施。その後、2人組でバスケットボールを1球持ち、後出しじゃんけんで勝ったら相手の周りを1周ドリブルで回る。

○主運動等



・主運動は8の字跳びを実施(全4回)。8の字を描くように左右から跳び、制限時間60秒の間に連続して跳べた最高回数を競う。2つの班を合わせ、3チーム対抗で行う。縄に引っ掛かった場合は1から数え直す。4回目は制限時間を設けずに、縄に引っ掛かるまで跳べた回数を競う。途中作戦タイムを設け、回数を増やす工夫を各チームで話し合う。4回目終了後、全員一列に並び一斉に跳ぶことに挑戦する。



・運動の時間を振り返り、3つの約束をしっかりと意識して取り組んでいたことは素晴らしい。3つの約束はオリンピックバリューに当てはまり、皆の日常生活の中にある。座学の時間は、オリンピックに出場するまでの自分の経験を話し、そのことがどのようにオリンピックバリューに結び付いているかを皆と一緒に考え、皆にとってのオリンピックバリューはどんなことかを考える時間にしたいと話し、授業終了。

- **オリンピック**：永田 睦子 先生 (バスケットボール)  
【出場オリンピック／アトランタ1996大会、アテネ2004大会】
- **期 日**：2024年10月17日(木)
- **ク ラ ス**：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・アテネ大会に出場した際の試合映像を見ながら自己紹介。中学校、高校とバスケットボール競技に一生懸命に取り組んでいたが、当時はオリンピック出場を意識したこともなく、心に余裕がなかった。先輩のプレーと自分のプレーを比較したり、上手いかわないことがあると、自分に言い訳をして自分自身と向き合うことを避けていた時期もあった。それを乗り越えられたのは、チームの仲間が存在だったり周りの人の支えがあったからだ。乗り越えると前を向けるようになり、やがてそれが自信になる。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の時間または日常生活の中で、オリンピックバリューに当てはまることを書いてみよう。  
 エクセレンス：「諦めずに跳んだ」「全力で跳んだ」「自分のできることをする」「体育祭や合唱祭に全力で取り組む」等  
 フレンドシップ：「縄跳びが苦手な友達をフォローする」「失敗しても責めない」「係の仕事を手伝う」「ポジティブな声掛け」等  
 リスペクト：「食事を作ってくれる家族に感謝」「ルールを守る」「感情的にならない」「ありがとう、ごめんなさいを素直に言う」等



・日常の自分自身の行動や考え方を振り返り、友達同士で意見を出せたことは素晴らしい。オリンピックバリューはオリンピックに出場した選手だけのものではなく、皆にとっても大切であり、無意識にできていることもたくさんある。これから何かに挑戦したり、生きていく上で大きなヒントになる。迷った時や前に進めない時は今日のことを思い出し、周りの人に相談することも大事だ。これからも仲間を大切に、色々なことにチャレンジしてほしいと話し、授業終了。

■集合写真

・2年1組



■記念品贈呈

・2年1組



■修了証贈呈

